

3月定例会ではこんなことが決まりました

ここでは、提出された議案33件、諮問2件について、本会議での審議結果を全て掲載しています。

市長提出議案

議案番号	議案の件名	議決結果	
第1号	霧島市社会教育委員設置条例の一部改正について	可決	全会一致
第2号	霧島市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	全会一致
第3号	霧島市手数料条例の一部改正について	可決	賛成多数
第4号	霧島市立学校授業料等に関する条例の一部改正について	可決	賛成多数
第5号	霧島市子ども医療費助成条例の一部改正について	可決	全会一致
第6号	霧島市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正について	可決	全会一致
第7号	霧島市ケーブルテレビ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	賛成多数
第8号	霧島市働く婦人の家の設置及び管理に関する条例及び霧島市農産物加工施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	全会一致
第9号	霧島市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	全会一致
第10号	霧島市火災予防条例の一部改正について	可決	全会一致
第11号	霧島市いじめ問題対策委員会設置条例の制定について	可決	全会一致
第12号	霧島市国民健康保険出産費資金貸付基金条例の廃止について	可決	全会一致
第13号	議決事項の一部変更について（工事請負）	可決	全会一致
第14号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画について	可決	全会一致
第15号	平成25年度霧島市一般会計補正予算（第6号）について	可決	全会一致
第16号	平成25年度霧島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	可決	全会一致
第17号	平成25年度霧島市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決	全会一致
第18号	平成25年度霧島市交通災害共済事業特別会計補正予算（第1号）について	可決	全会一致
第19号	平成25年度霧島市下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	可決	賛成多数
第20号	平成25年度霧島市温泉供給特別会計補正予算（第1号）について	可決	全会一致
第21号	平成26年度霧島市一般会計予算について	可決	賛成多数
第22号	平成26年度霧島市国民健康保険特別会計予算について	可決	全会一致
第23号	平成26年度霧島市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	賛成多数
第24号	平成26年度霧島市介護保険特別会計予算について	可決	賛成多数
第25号	平成26年度霧島市交通災害共済事業特別会計予算について	可決	全会一致
第26号	平成26年度霧島市下水道事業特別会計予算について	可決	賛成多数
第27号	平成26年度霧島市温泉供給特別会計予算について	可決	全会一致
第28号	平成26年度霧島市水道事業会計予算について	可決	賛成多数
第29号	平成26年度霧島市工業用水道事業会計予算について	可決	賛成多数
第30号	平成26年度霧島市病院事業会計予算について	可決	全会一致
第31号	霧島市学校給食運営審議会条例の一部改正について	可決	全会一致
第32号	霧島市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	可決	全会一致
第33号	平成25年度霧島市一般会計補正予算（第7号）について	可決	全会一致

諮問

第1号	人権擁護委員の推薦について（山下佐和子氏）	原案答申
第2号	人権擁護委員の推薦について（居細工學氏）	原案答申

霧島神宮周辺の松枯れ対策を急げ



前島 広紀 議員

問 霧島市では松枯れの被害が拡大している。特に、霧島神宮鳥居から南の県道沿いには、枯れて朽ちかけている大きな松の木が数本あり、かなり危険な状況である。観光地霧島として早急に現状回復対策を講じるべきではないか。

答 霧島神宮方面は、年間500万人が訪れる霧島市を代表する観光地であり、観光きりしまの貴重な景勝地として欠かさないものとなっている。早急に周辺の回復対策を検討する。

国分中央高校の活性化を

問 キリシマツツジは、本家霧島山周辺においては、数か所にあることが確認されているに過ぎない。国分中央高校には園芸工学科があり、小畑実習農場などで花や野菜の生産技術を実習している。また、バイオテクノロジーの技術を習得して無菌サツマイモ苗を生産し、農家に提供している。このような技術を活かし、代々後輩に増殖技術を伝授し歴史を重ねていくことが、学校の活性化につながると思う。同学科において「キリシマツツジ」の増殖に取り組むことができないか問う。

答 前向きに検討していく。



キリシマツツジ

消防団装備の充実を図れ



下深迫 孝二 議員

問 消防庁は、消防団装備の新基準を公表したが、その中に携帯用無線機や救命胴衣、自動体外

ドクターカーの導入を進めるべきではないか



徳田 修和 議員

問 救急搬送件数の現状はどうか、また、受け入れ側の対応はできているか。本市でドクターカーは導入できないか。
答 平成25年は、552

式除細動器の拡充、その他安全靴や手袋など貸与すると発表した。理由として東日本大震災を受け、団員の安全確保とあるがどのように捉えているか。

答 東日本大震災で多数の消防団員が犠牲となったことから、安全確保や現場活動体制における装備の充実の指針が示された。本市においても地域の実情を踏まえ、資機材

9件出動し、搬送人数5066人（内、管外搬送799人）。現場到着所要平均時間8.7分、現場から病院搬送所要平均時間32.7分。医師会医療センターと連携し輪番制をとり、以前よりも霧島市管



ドクターカー

を整備し、災害対応の強化を図る。

市職員はどの程度まで減らすのか

問 本市は、合併して9年目に入ったが、職員の適正化は進んでいるのか。また、前年度に比べて人件費の増減はどうか。最終的に職員数はどの程度まで減らすのか。
答 平成25年4月現在の

内に対応できるようになっている。ドクターカーの導入は、医師不足のため困難と考える。

ドクターカーとは、救命率を向上させるため、医師・看護師を乗せ現場で処置を行える車両のことです。

救急車到着後、迅速な対応を

問 救急車を要請した方は、二重に容体を聞かれただ上に病院が決まるのもどかしく待たなければならぬ。通報を受けた時点で、重病者の判断を

職員数は1168人で、合併当初より263人減少している。人件費は前年度に比べて8563万7000円減額となっている。最終的には、平成28年4月で1132人と考えているが、類似市と比較すると、さらに削減しなければならないと考えている。

その他の質問

・市報について

し、病院の手配をするなど、迅速に対応できないか。

答 容態の判断は、通報時と現場到着時に隊員が判断後、病院の要請をしている。重篤と判断した場合、ドクターヘリの要請など迅速な対応を心掛けている。また、救急無線を開いている鹿児島市内の米盛病院（ドクターカー所有）が、自主的に救命支援を行っている。

その他の質問

・市長の諮問機関について